

## 社会情報課程

| 目指すべき人材像                                                                                       | 4年間で育てたい力<br>(ND6) |               | ディプロマポリシー<br>(卒業認定・学位授与方針)                                                                                                         | カリキュラムポリシー<br>(教育課程編成・実施方針)                                                                                                                                                            | アドミッションポリシー<br>(入学受入れ方針)                                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性                                  | キリスト教精神・女性教育       | DP1. 自分を育てる力  | キリスト教精神に基づいて豊かな人間性と奉仕の精神を養い、情報を文化・生活環境・心理・教育の側面からとらえ、よりよい暮らしの創造や地域社会の実現に貢献できる態度を身につけている。                                           | 共通教育科目におけるキリスト教精神や女性の生き方についての学びに加えて、1、2年次では大学に必要な学びの基礎と、情報の活用に関する基礎的な学びを実践的に修得する基盤となる科目として「社会情報基礎演習」「社会情報発展演習」を配置する。さらに、3年次には「社会情報演習」を配置し、それぞれの専門性を高めるとともに、自己の描くキャリアを具体化させる知識と態度を養成する。 | 〔期待する能力〕<br>社会に貢献できるよう自分を高めたいと考え、情報を活用し自分の生活や人生を主体的に築いていく意欲をもっている人。<br>〔選考方法〕<br>面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート      |
| 人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性                                        |                    | DP2. 知識・理解力   | 社会情報・情報科学・データサイエンス・AI(人工知能)および4学科の関連領域に関する幅広い知識を身につけ、暮らしや社会の貢献に関わる多様な課題を理解できる力を身につけている。                                            | 1年次では、基礎的な情報の知識を深めるため「社会情報概論」「情報の科学と倫理」を始め、社会情報・データサイエンスについて総体的に学ぶ社会情報基礎科目を中心に配置し、2年次以降は、段階的に専門的知識が修得できるよう社会情報展開科目等の科目群を配置する。                                                          | 〔期待する能力〕<br>入学後の就学に必要な基礎学力としての知識や理解力を有するとともに、情報や数理を、自ら積極的に学び知識を身につけたいと考えている人。<br>〔選考方法〕<br>学力試験、レポート、調査書              |
| グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性                  | 汎用的技能              | DP3. 言語力      | 多様化、複雑化する現代社会が抱える諸問題を社会情報的視野から解決へと導くために、日本語および外国語でのコミュニケーションスキルと読み書き能力を身につけている。                                                    | 共通教育科目で多言語に関する能力を養うとともに、専門科目においてはグループディスカッションを重ね、他者とのコミュニケーションを図りながら社会問題に対して協働で探究する科目を配置する。                                                                                            | 〔期待する能力〕<br>基礎的な外国語・英語力を有し、学んだ知識や技術を用い、言語を介して積極的に他者と関わるということに関心がある人。<br>〔選考方法〕<br>面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート     |
| 現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性                            |                    | DP4. 思考・解決力   | 現代社会のさまざまな課題に対して、人の生活を社会情報やデータサイエンスの側面からとらえ、生活のあり方や生活における情報の扱い方の本質を探り、より良い方向を見出す力を身につけ、4学科に関する専門的な知識と技術を根拠として用い自他の課題を解決するために活用できる。 | 社会情報基礎科目で身につけた基礎的知識を基盤に、現代社会の多様な課題を見極め、解決するための方策を考える力と実行可能な技術や技能を身につけるために4学科の展開科目、関連科目を広く履修できるようにし、「社会情報フィールド研修」「社会情報インターンシップ」などより社会に密接した実践的な科目を配置する。                                  | 〔期待する能力〕<br>社会の情勢に関心を持ち、生活をより良くするために、身につけた知識や技能を活用し社会に貢献したいと考えている人。<br>〔選考方法〕<br>面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート      |
| 他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性                | 態度・志向性             | DP5. 共生・協働する力 | 社会の現状を社会情報やデータサイエンスの側面からとらえ、一人ひとりの人間をかけがえのない存在として尊び、対話を中心に、他者に共感でき、多様な課題を抱える人に寄り添う態度を身につけ、他者と協働しながら関わる支援者としての技術を身につけている。           | 「社会情報基礎演習」「社会情報発展演習」において基礎的な共生・協働の力を養い、4学科のさまざまな実践経験に基づく学びを踏まえ、4学科の学生とも活動する力を養うことを目的として「社会情報演習」「社会情報フィールド研修」などの実践的科目を配置する。                                                             | 〔期待する能力〕<br>対話やコミュニケーションを軸に周りとの協力しながら、相手の立場に立って物事を考えようと努力し、行動したいと考えている人。<br>〔選考方法〕<br>面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール) 調査書、レポート |
| 総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性 |                    | DP6. 創造・発信力   | 社会の現状を社会情報やデータサイエンスの側面からとらえ、総合的な学修経験を活かし、課題を解決するために必要に応じて新たな価値の創造に取り組み、その成果を適切に発信する力を身につけている。                                      | 社会情報・データサイエンスおよび4学科の専門的かつ実践的な学修経験を経て、その学びを新たな提案や作品制作の形でまとめ、学修成果として発信する力を育てるため、学外におけるインターンシップや卒業研究の科目を配置し、創造・発信の力を養う。                                                                   | 〔期待する能力〕<br>より良い情報社会の創造に関わり、自分の考えを発信したいと考えている人。<br>〔選考方法〕<br>面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート                          |